

令和5年度「ごみ減量・資源化に関する行動・意識等」に関する 市民意識調査【結果概要】

■ 調査の目的

市民のごみ減量・リサイクル施策に対するニーズ等を把握し、今後のごみ減量・リサイクル施策に活用するため。

■ 調査設計

調査対象者	札幌市内の満18歳以上の男女
標本数	4,000人
抽出方法	等間隔無作為抽出法
調査期間	令和5年11月24日（金）～12月8日（金）
調査方法	郵送配布・郵送回収法・Webフォーム

■ 回収結果

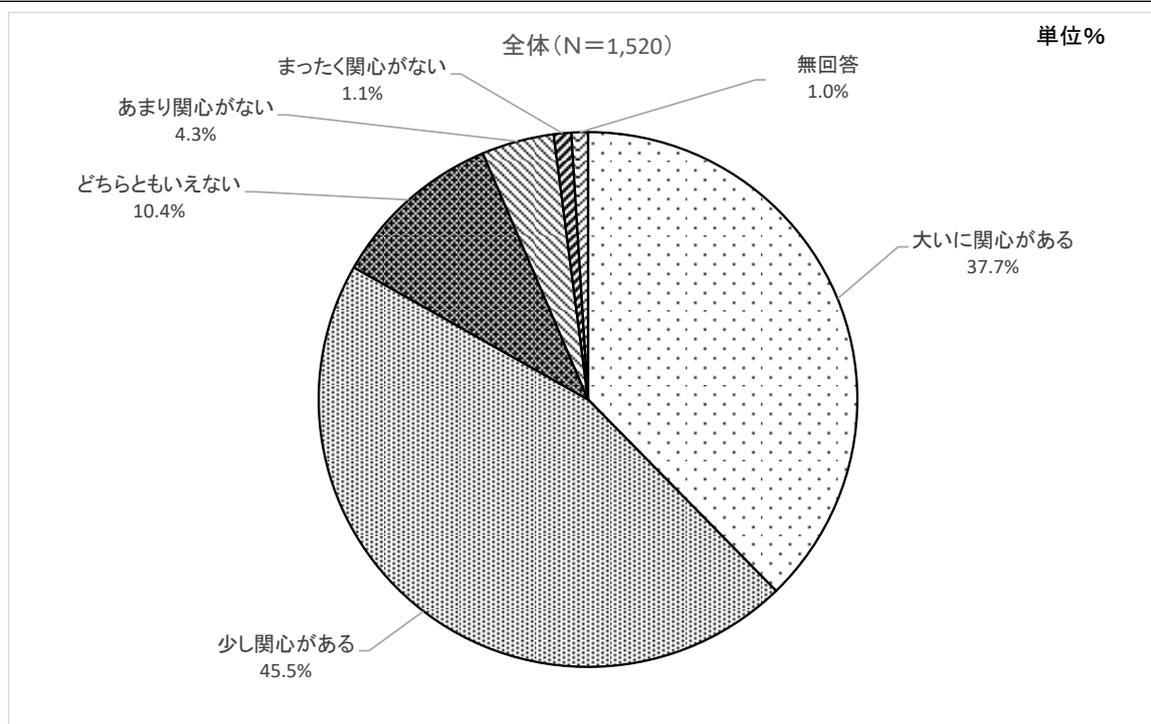
発送数	4,000件
有効回答数	1,520件（郵送回答：1,163件、Web回答：357件）
アンケート回収率（回答数÷発送数×100）	＝38.0%

■ 主な結果

※本書から抜粋したもの。設問番号は本書と同じ。

1 ごみ減量・リサイクルに対する行動・リサイクル意識について

問1 あなたは、ごみの減量やリサイクル、分別・収集など、ごみに関することについて関心がありますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



ごみに関することについての関心は、8割強の人がごみ減量・リサイクル・分別・収集などに『関心がある』と回答している。

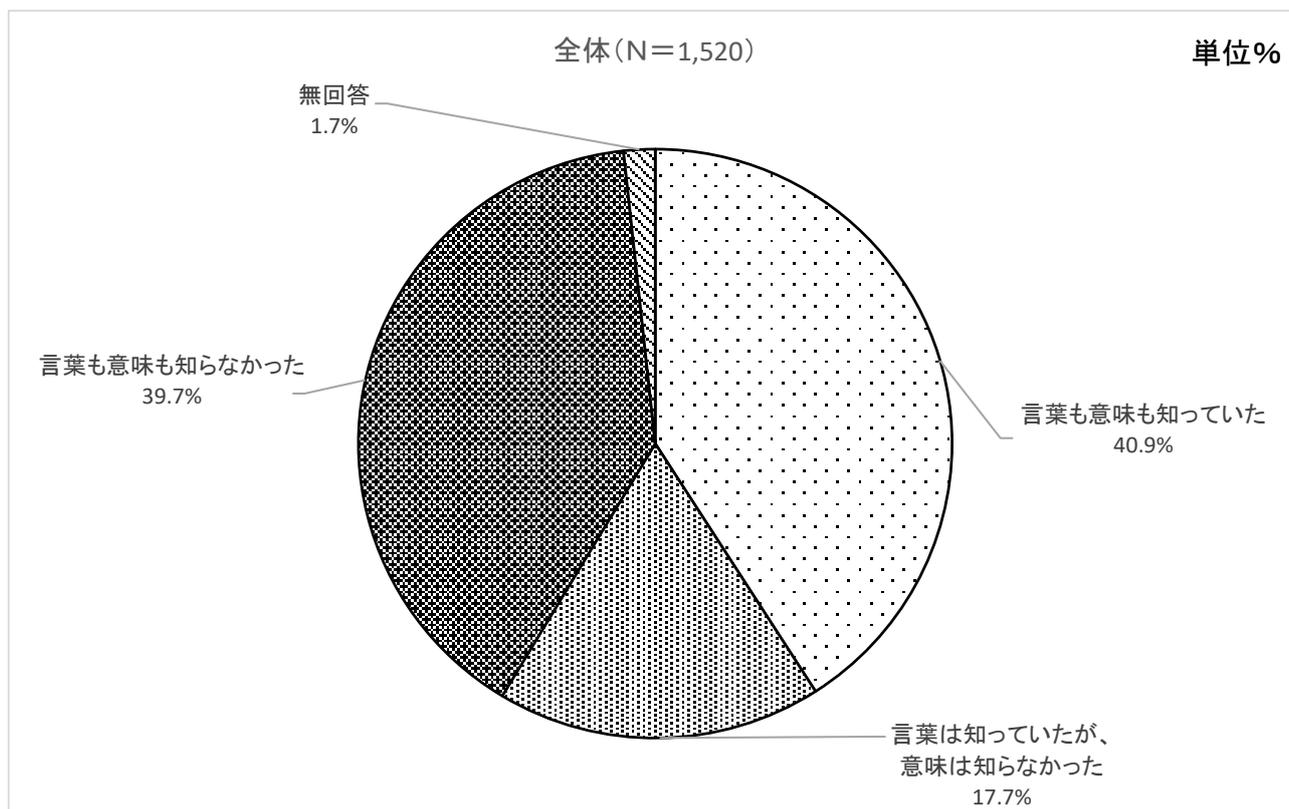
問2 3R^{*}についてお伺いします。

【用語の説明】

3R（さんアール、スリーアール）・・・以下の3つの英語の頭文字をとった言葉。3Rのうち優先順位の高いリデュース、リユースを併せて2R（にアール、ツーアール）と呼ぶ

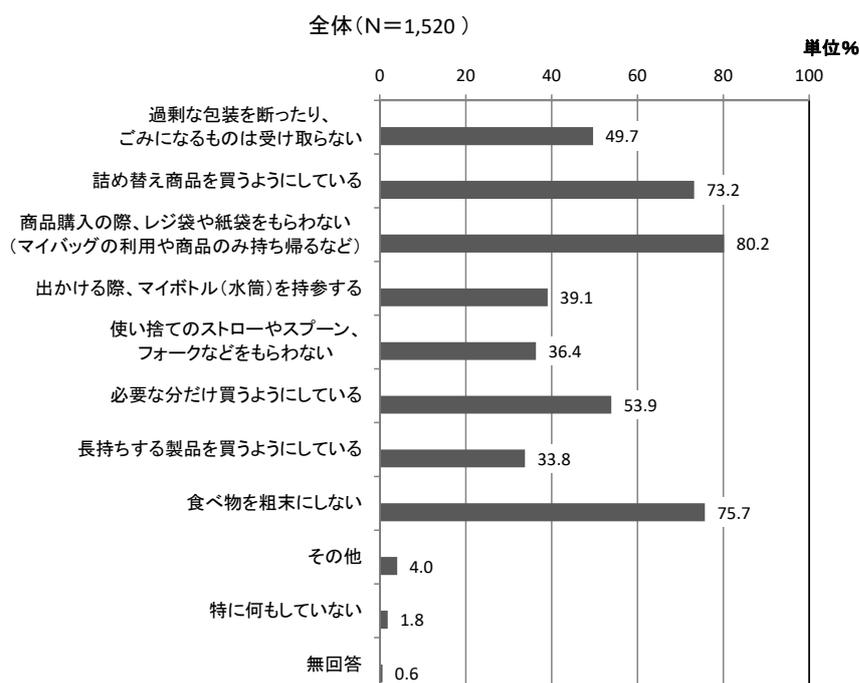
- ①リデュース（Reduce：発生・排出抑制）・・・ごみの発生、資源の消費をもとから減らすこと。不要な物は買わない、物を大切に使うなど
- ②リユース（Reuse：再使用）・・・繰り返し使うこと。リユースショップ（リサイクルショップ）の利用など
- ③リサイクル（Recycle：再生利用）・・・資源として再利用すること。古紙から新しい紙をつくる、ペットボトルから別のプラ容器にするなど

（1）あなたは、「3R（さんアール、スリーアール）」という言葉や意味を知っていますか。次の中からあてはまるものに1つ○をつけてください。



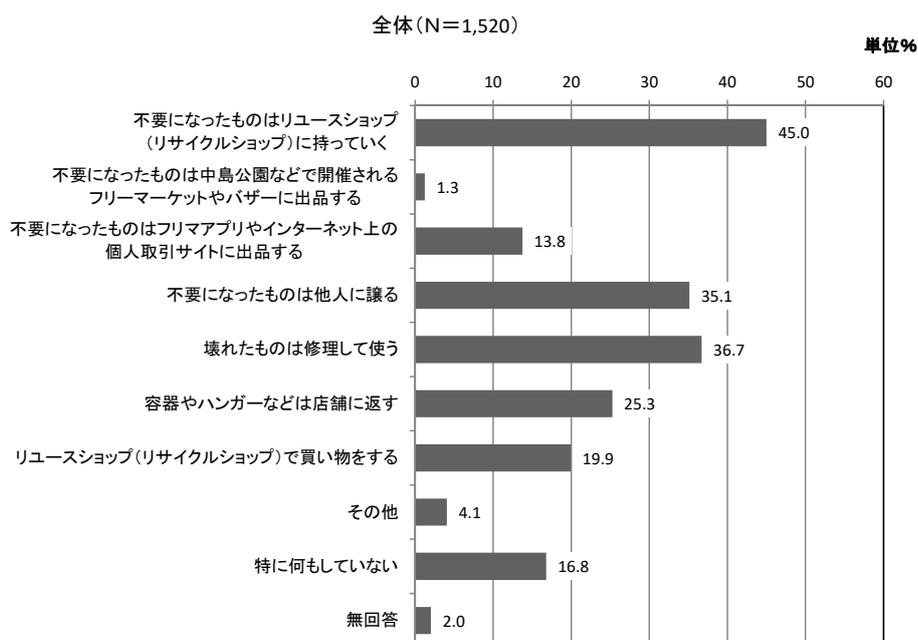
3Rについて、意味を『知っていた』と回答したのはおよそ4割となっている。

(2) ごみの発生や排出の抑制(リデュース)のために、あなたが行っていることは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



ごみを減らす(リデュース)ために、それぞれ7割以上の方が「レジ袋を貰わない」、「食べ物を粗末にしない」、「詰め替え商品を買うようにしている」を行っているとは回答している。また、「特に何もしていない」と回答したのは2%未満となっている。

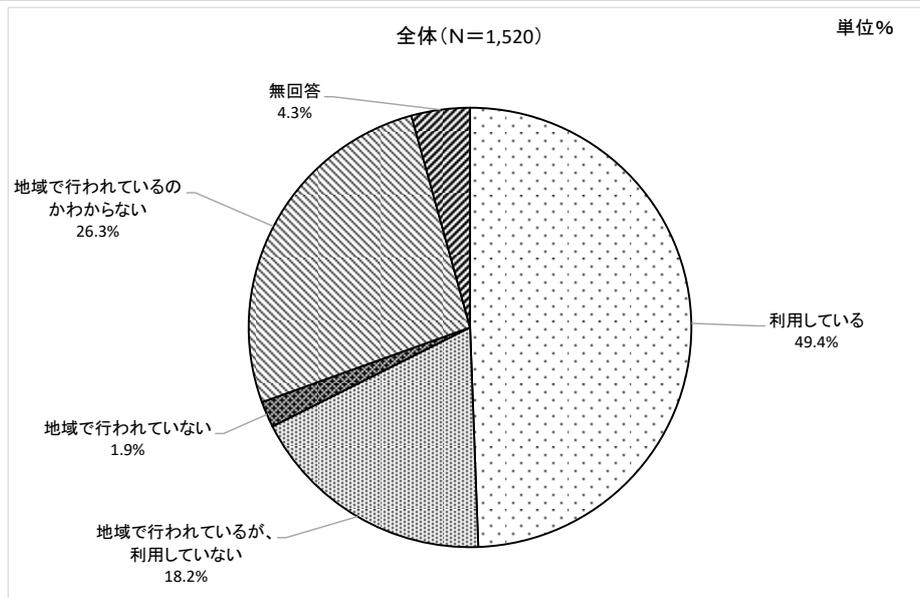
(3) 製品などの再使用(リユース)のために、あなたが行っていることは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。



製品などの再使用(リユース)のために、4割強の人が「不要なものはリユースショップに持っていく」と回答している。一方、「特に何もしていない」と回答したのは2割弱となっており、リデュースの場合よりも高い割合となっている。

問5 集団資源回収についてお伺いします。

(1) あなたは、集団資源回収を利用していますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。

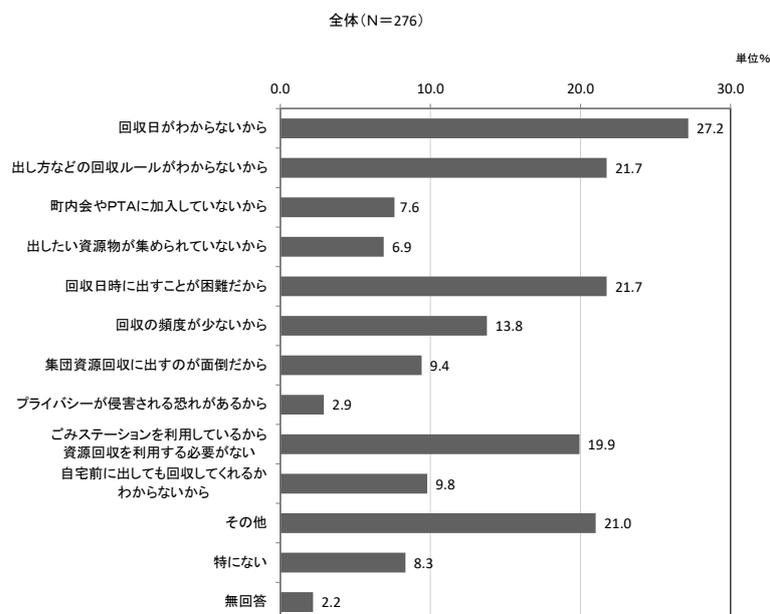


5割弱の人が集団資源回収を「利用している」と回答している。

一方、「地域で行われているかわからない」と回答した人が3割弱、「地域で行われているが、利用していない」と回答した人は2割弱となっている。

《問5の(1)で「2 地域で行われているが、利用していない」と答えた方にお聞きします。》

(3) あなたが集団資源回収を利用しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

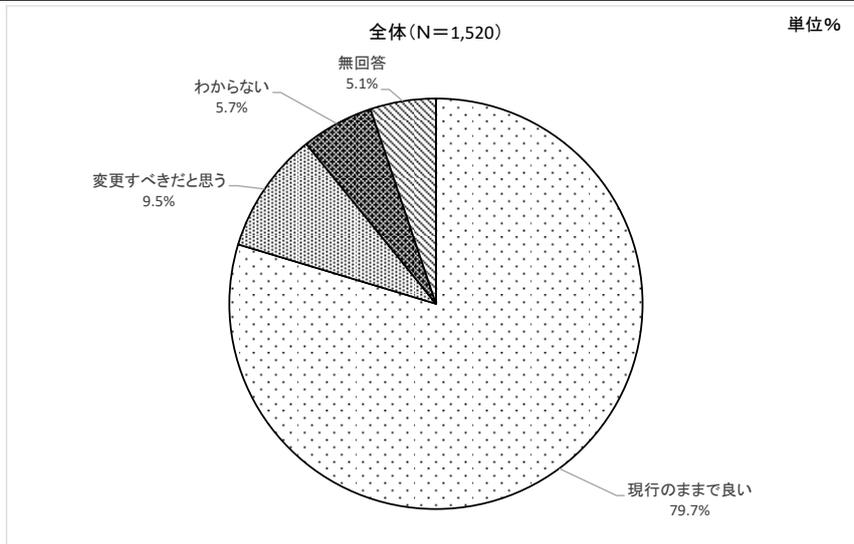


集団資源回収を利用しない理由としては、「回収日がわからないから」と回答した人が3割弱となっている。また、「出し方などの回収ルールがわからないから」・「回収日時に出すことが困難だから」がそれぞれ2割強となっている。

2 ごみの収集方法などについて

問6 家庭ごみの収集回数についてお伺いします。

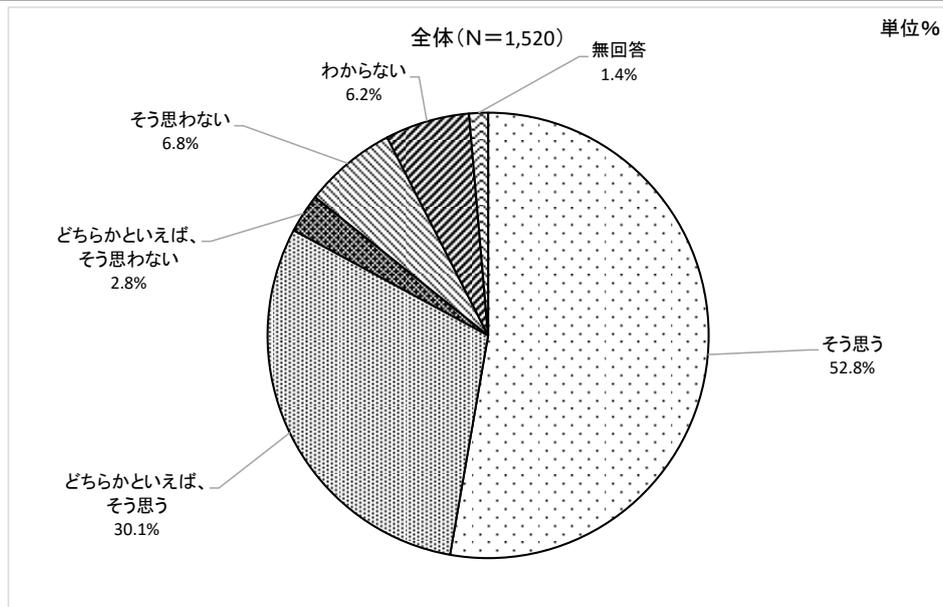
(1) ごみステーション管理の負担や収集経費などを考慮すると、収集回数全体を増やすことは難しい状況です。あなたは、現行の収集回数の中で、ある区分を増やし別の区分を減らすなど、一部変更した方が良いと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください



ごみの収集回数は、「現行のままで良い」と回答した人が8割弱となっており、「変更すべきだと思う」と回答した人は1割弱となっている。

3 家庭ごみ処理手数料制度について

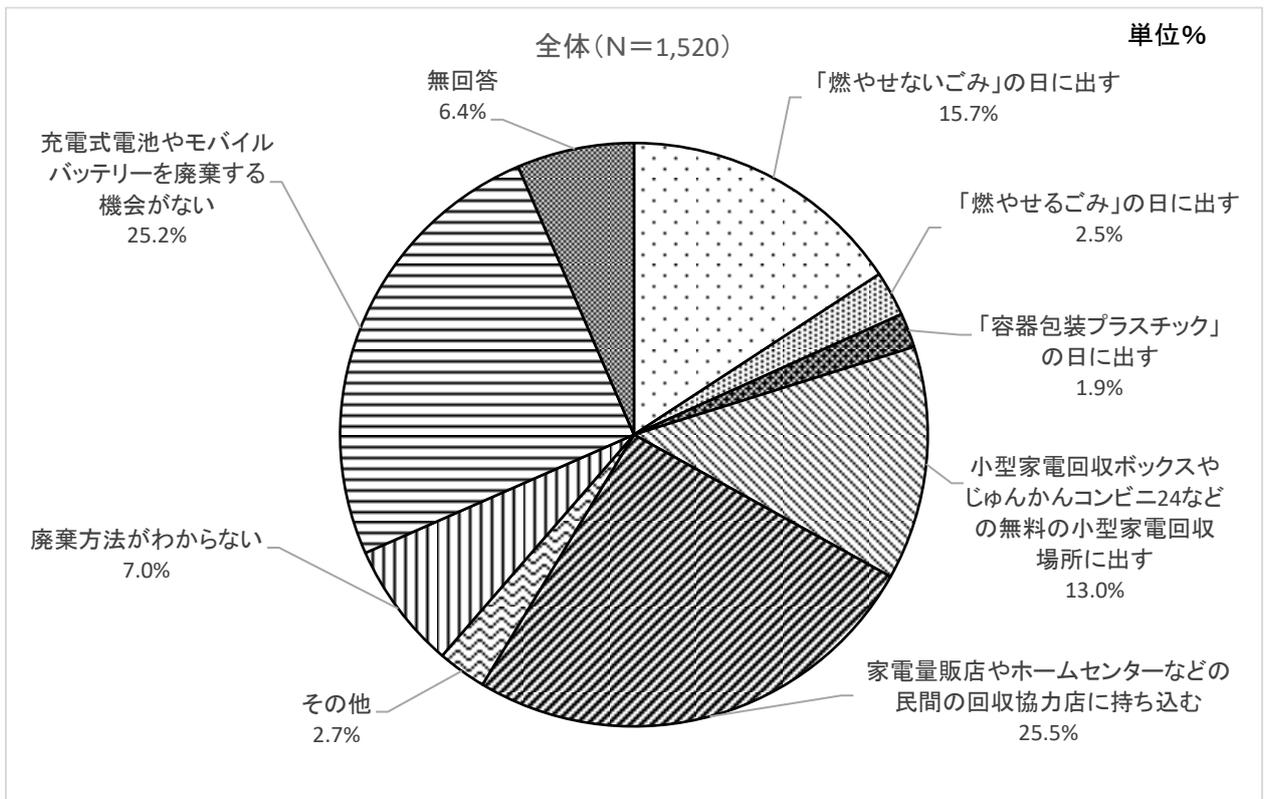
問15 ごみを多く出す人が大きい費用負担、少なく出す人が小さい費用負担という、現在の家庭ごみ処理手数料制度は公平なルールだと思いますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



家庭ごみ処理手数料制度が公平なルールかどうかについて、「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」と回答した人を合わせた割合が8割強となっている。

4 充電式電池の排出方法について

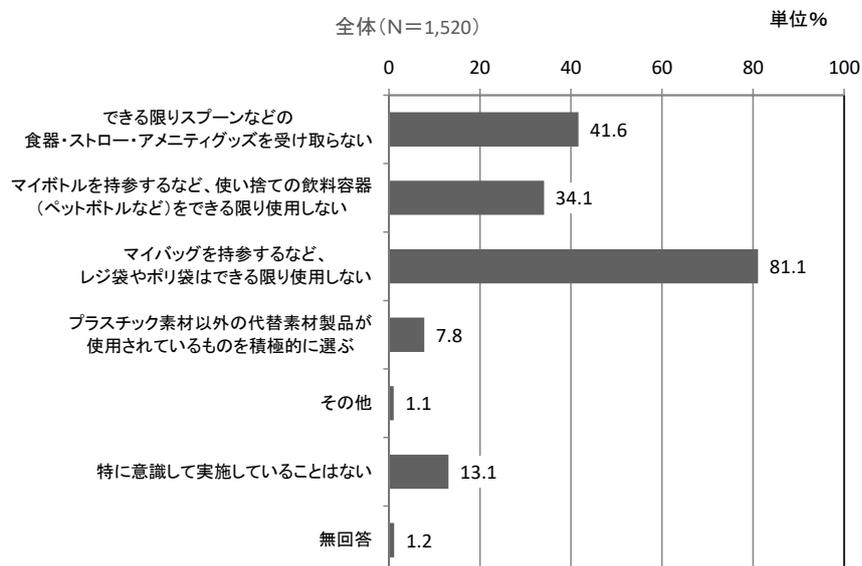
問 16 あなたは充電式電池（ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池）やモバイルバッテリーを廃棄するとき、どのような方法で廃棄しますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



「家電量販店やホームセンターなどの民間の回収協力店に持ち込む」が3割弱となっている。

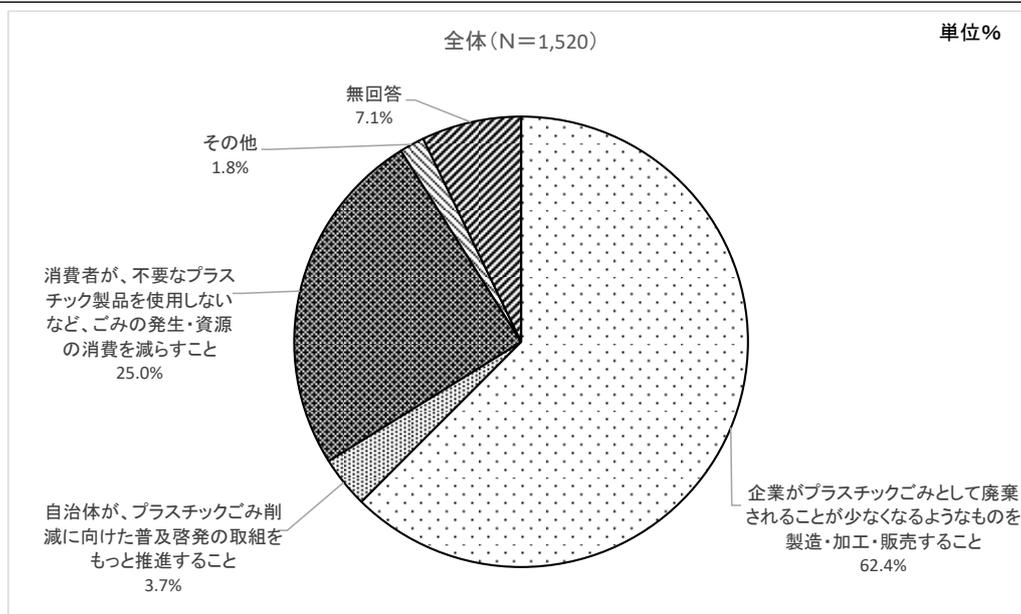
5 プラスチックごみについて

問 17 あなたがプラスチック使用製品に関して普段実施していることは何ですか。次の中から、あてはまるもの
にいくつでも○をつけてください。



プラスチック製品に関して普段実施していることについて、「マイバッグを持参するなど、レジ袋やポリ袋はできる限り使用しない」と回答した人が8割強となっている。

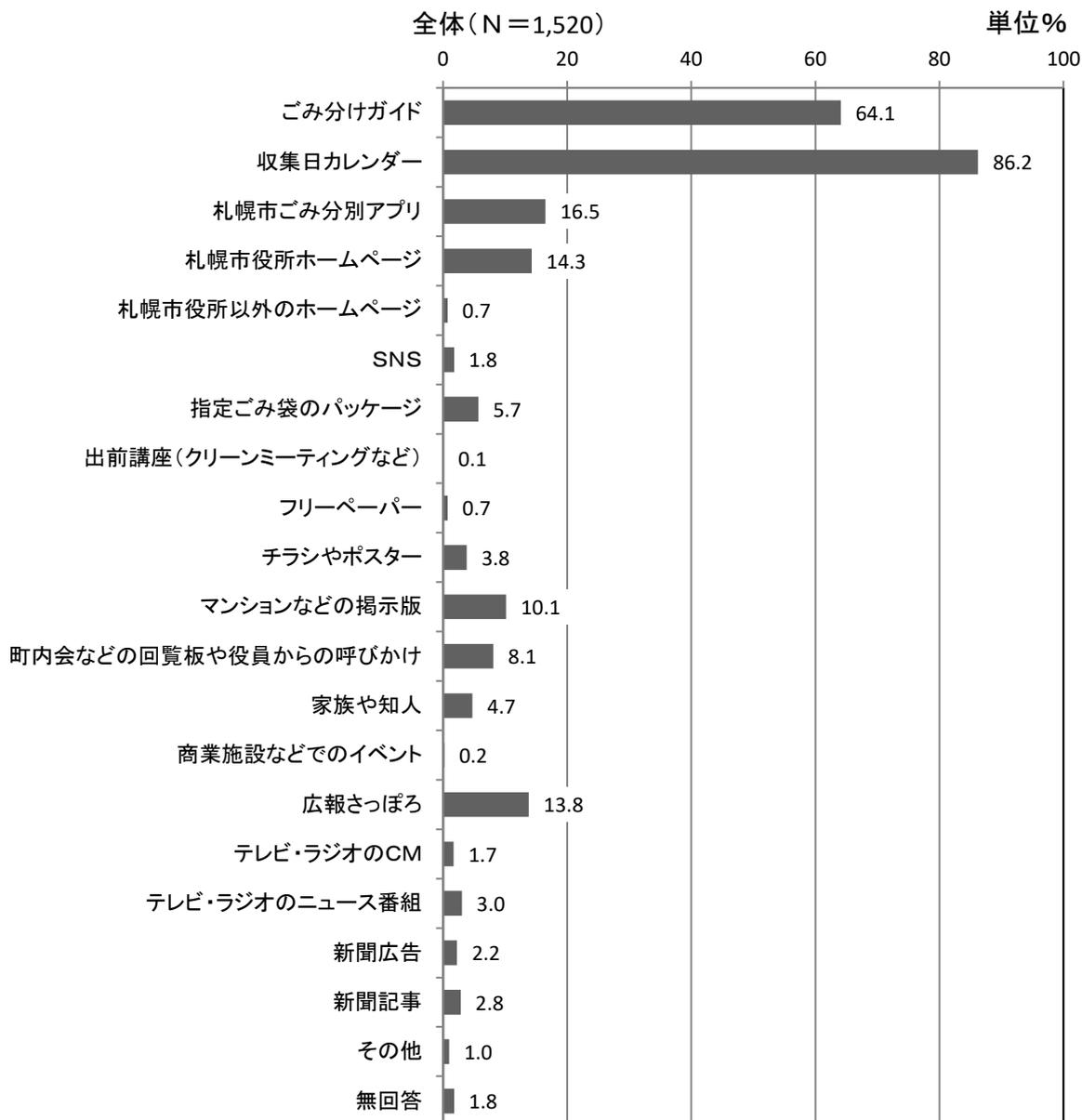
問 18 あなたがプラスチックごみを減らすために必要だと思うことは何ですか。次の中から、特に重要
だと思うものに1つ○をつけてください。



プラスチックごみを減らすために必要だと思うことについて、「企業がプラスチックごみとして廃棄されることが少なくなるようなものを製造・加工・販売すること」と回答した人が6割強となっている。

6 普及啓発

問 21 ごみの「分け方」「出し方」「減らし方」に関する情報をあなたはどこから得ていますか。次の中から、あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。

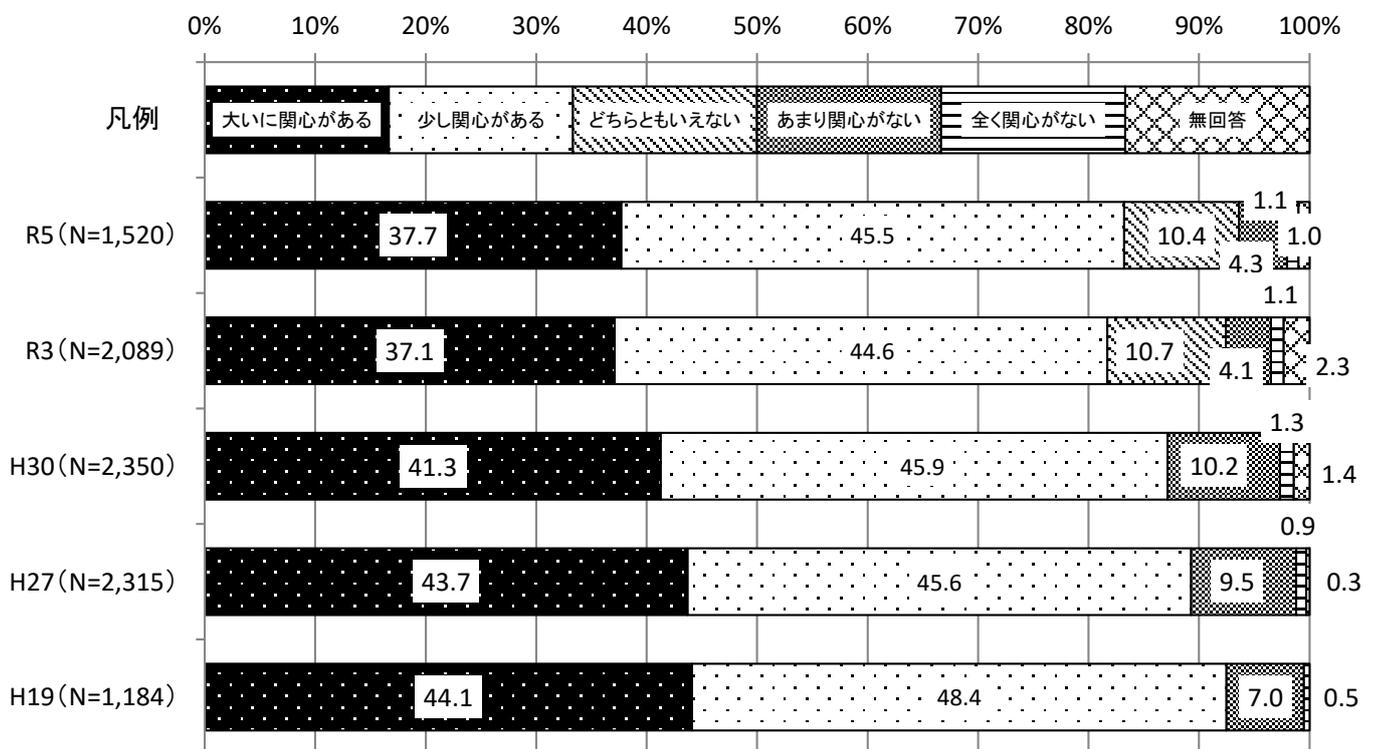


ごみの「分け方」「出し方」「減らし方」に関する情報の入手先は、「収集日カレンダー」による人が最も多く 9 割弱となっている。次いで、「ごみ分けガイド」が 6 割強となっている。

◇ 過去調査結果との比較（平成19・21・27・30年度・令和3年度）

1 ごみ減量・リサイクルに対する行動・リサイクル意識について

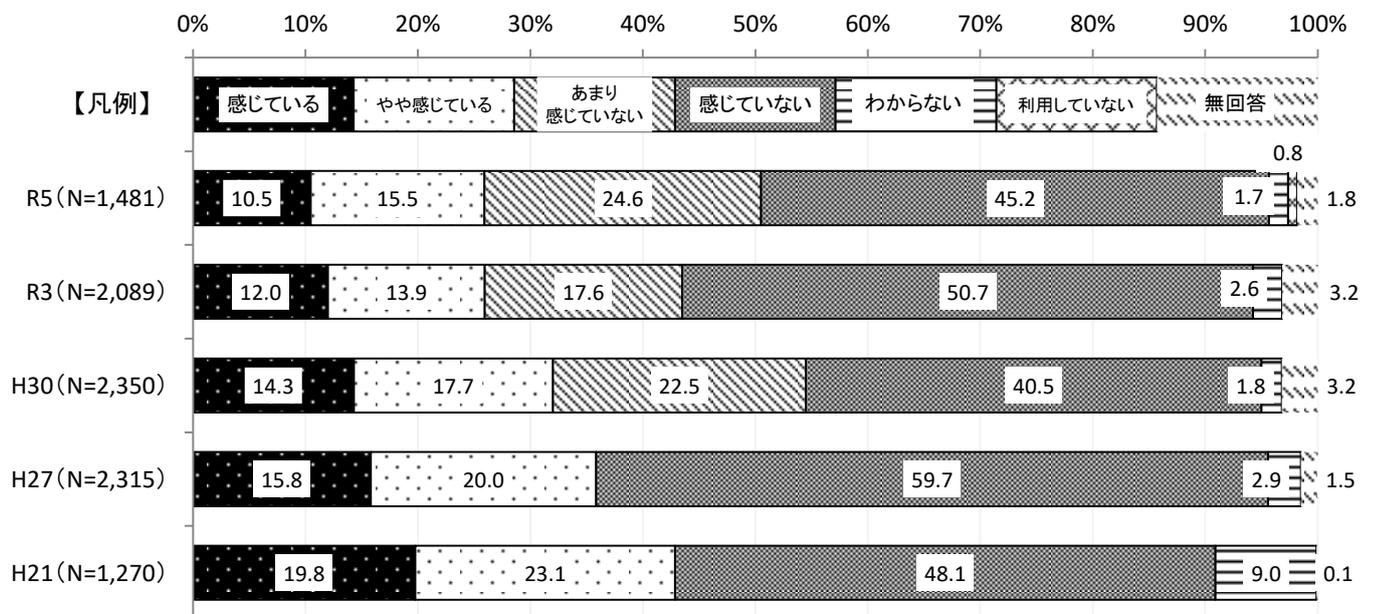
問1 あなたは、ごみの減量やリサイクル、分別・収集など、ごみに関することについて関心がありますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。



ごみに関することについての関心は、「大いに興味がある」・「少し興味がある」と回答した人を合わせた割合は8割強となっているが、過去の調査と比べて減少傾向にある。

2 ごみの収集方法などについて

問7 あなたは、使用しているゴミステーションに問題を感じていますか。次の中から、あてはまるものに1つ○をつけてください。

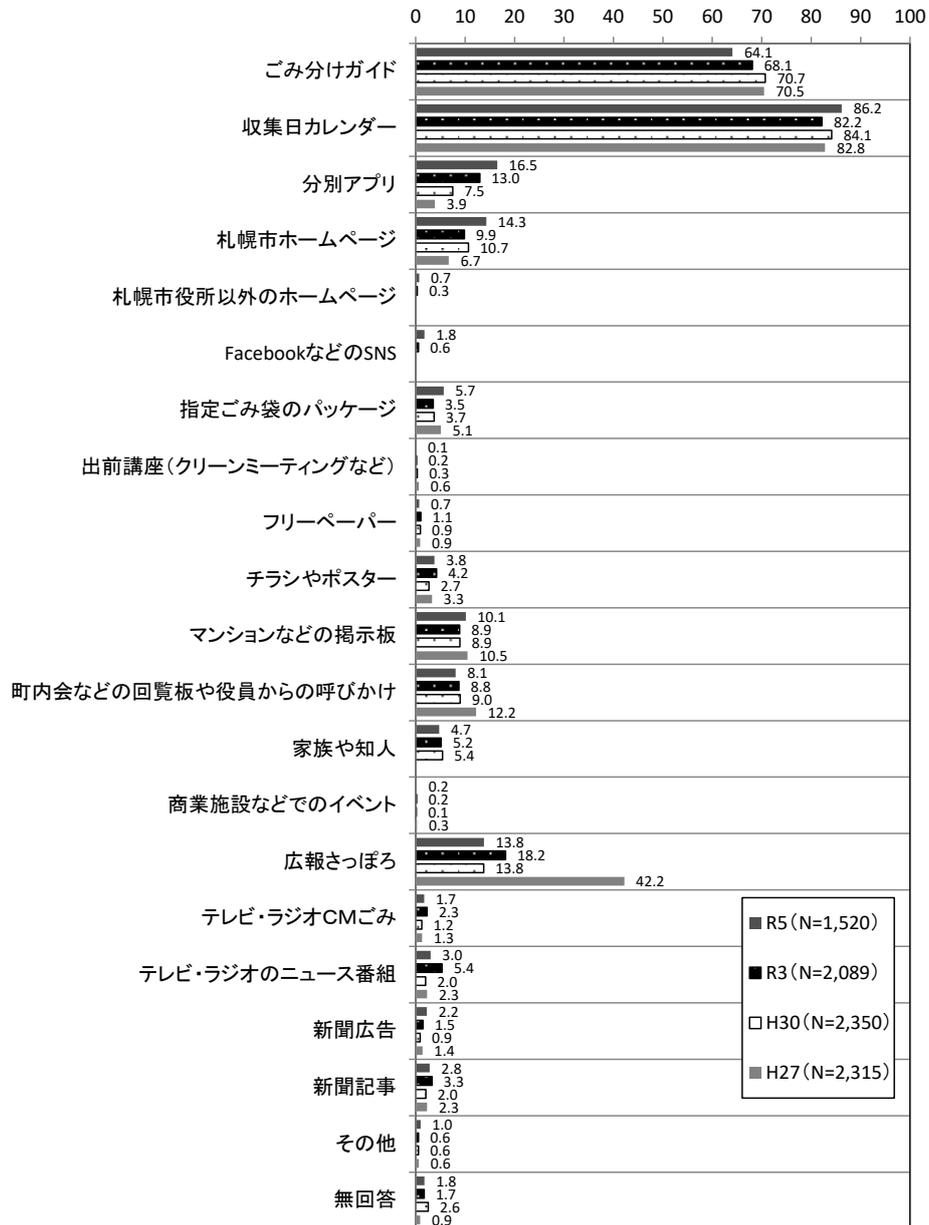


ゴミステーションについて問題を「感じている」・「やや感じている」と回答した人の合計の割合は3割弱となった。

6 普及啓発

問 21 ごみの「分け方」「出し方」「減らし方」に関する情報をあなたはどこから得ていますか。次の中から、あてはまるものにもいくつかつけてください。

単位%



ごみの「分け方」「出し方」「減らし方」に関する情報の取得手段について、「収集日カレンダー」・「ごみ分けガイド」の順に回答した人の割合が多かったが、平成 27 年度以降、「分別アプリ」が増加している。一方、「ごみ分けガイド」と回答した人の割合がそれぞれ平成 27 年度から減少傾向にある。